

所管課		産業振興部農林課									
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策						
	第3章 元気創造都市		11 農業		02 地産地消の仕組みを充実する						
事業：都市農村交流推進事業								整理番号	0233		
目的	農業をはじめとした地域産業の振興を支援し、農業者と市民・企業の連携及び交流を図る。大半を占める小規模農家や都市住民に近いという本市の特性を生かし、農の持つ多面的機能の1つである都市住民との交流型農業を推進する。										
目標	農の拠点整備推進事業においては、平成26年度中の計画通りのオープンをめざし、適切な事業進捗を図る。また、景観作物植栽補助事業においては、対象作物の植栽の推進をし、農地の保全や遊休農地の解消を図る。										
事業費・財源	事業費(決算額)(千円)		506,987		コスト情報・評価 内訳	総コスト (千円)		528,412		総合評価 B 評価理由 事業について適正かつ計画どおりに実施することができたが、事業内容のさらなる充実を目指していく。	
	財源内訳	一般財源		55,099		事業費		506,987			
		国府支出金		180,388		人件費		21,425			
		地方債		271,500		公債費		0			
		一人あたり(円)		4,681		世帯あたり(円)		11,206			
		その他特定財源		0							
貢献度	施策に対する事業貢献度		A		根拠	農の拠点のオープンに向けた事業推進を行っている。					
今後の方向性	農の拠点整備事業においては、平成26年度中の計画通りのオープンをめざすとともに、地区の意向や農業者団体の意向を組み込んだ、地区の活性化に資する施設の整備を行う。また、遊休農地の解消や農地の保全のため景観作物植栽を推進する。										

事業 優先順位		1	細事業：農の拠点整備推進事業				整理 番号		05	
目 的		本市の都市圏に近接した立地条件を活かし、地産地消・交流型農業・農商工連携等の視点から、農の資源を活用し、まちの魅力を高め、地域の活性化を図り、「農」を活かしたまちづくりをめざす。								
目 標		本市の都市圏に近接した立地条件を活かし、地産地消・交流型農業・農商工連携等の視点から、農の資源を活用し、まちの魅力を高め、地域の活性化を図り、「農」を活かしたまちづくりをめざす。そのための情報や地区経済の活性化拠点として、直売所を中心とした「農の拠点」の整備を行う。								
事業 実施主体		直 営		事業開始 年 度		平成20年度		根拠 法令		
事業費・財源					平成24年度		比 較			
	事業費（決算額）（千円）				506,869				総コスト（千円）	
	一般財源				54,981				事業費	
	国庫支出金				180,388				人件費	
	地方債				271,500				公債費	
	その他特定財源				0				一人あたり（円）	
					0				世帯あたり（円）	
					0				参 考 職員数（人）	
					0				再任用職員数（人）	
今 後 の 方 向 性		平成25年度中に実施設計を完成させ工事着工に入り、平成26年度のオープンとするため、関係機関・団体との連携を進める。								
評 価	妥当性		効率性		有効性		対象者		河内長野市民、市外住民、市内及び近隣自治体農家	
	A		A		B					

事業：都市農村交流推進事業

本市の農業は小規模な経営で、多くの農地は山間部に散在し、農業従事者の高齢化や担い手不足等の問題が生じている。また近年、開発団地における高齢化や、都心回帰等による人口減少が進んでおり、郊外都市としての魅力も求められている。

そこで、都市圏に近接しながらも豊かな自然環境を有する本市の立地条件を活かし、「地産地消の推進」、「交流型農業の展開」、「農商工の連携等」の視点から、農の資源の活用による交流拠点の整備を行う。この事業を始まりとして国道170号沿い南部エリアの「まち」の魅力を高め、交流人口を拡大し、河内長野・三日市町・千代田の三駅周辺に続く、第4の拠点を目指していく。

また、農地そのものが持つ環境的・防災的・景観的機能を重視し、市内の農地の保全や遊休農地の解消を図るとともに、市内各所で景観作物が咲き誇る美しい農空間となるよう形成させ、それに伴い都市と農村の交流の効果的な場の創出を図る。

細事業：農の拠点整備推進事業

1. 農の拠点整備事業

花の文化園や木根館、くろまろ館をはじめ、石川やほ場整備地区などの地域資源が一定エリアに集約された高向地域において、農産物直売所や交流施設、地産地消レストラン、地域産業振興施設等からなる「農の拠点」を整備するにあたり、市立宮の下駐車場用地の購入を行った。

